

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

(00532)

事務事業名称	生涯スポーツ振興事業				款	03	項	06	目	01	事業	001	整理番号	105	
現担当課名	スポーツ振興課		係名	事業係		連絡先電話番号	1674		昨年度整理番号	107					
上位施策No・施策名	29 誰もがスポーツに親しむことができる環境づくり								予算事業区分	既定事業					
事業開始	昭和37年度	実行計画事業	目標	08	施策	29	計画事業	01							
令和 5年度担当課名	スポーツ振興課								事業評価区分	一般					

令和 5年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	スポーツをする機会の少ない人及びスポーツ団体・競技者	根拠法令等 (1) (2)	社会教育法第2、3、5条、スポーツ基本法第22条、32条 杉並区スポーツ推進委員に関する規則、杉並区スポーツ栄誉顕彰要綱
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	生涯スポーツ振興事業を通して、スポーツ実施者の拡大を図るとともに、事業の運営等への参画・協働の仕組みを充実させ、様々な立場でスポーツに関わる人を増やすことで、人と人とのつながりを広げ、スポーツによる地域づくりを目指す。	活動指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2)	各種生涯スポーツ事業回数 共催件数
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	第31期 (令和4~5年度) スポーツ推進委員と、地域拠点活動や、綱引き大会などのレクリエーションスポーツの普及啓発を行う。 重度心身障害者スポーツ教室 (わいわいスポーツ教室) をボランティア等と年6回開催する。 交流自治体中学生野球大会を開催する。	成果指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2) 指標説明	各種事業参加者数・スポーツ栄誉章被顕彰者数 生涯スポーツ振興事業の延べ参加者数【行政】 各種事業ボランティア等人数 生涯スポーツ振興事業8事業の実行委員・ボランティアの延べ人数【行政】

指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度		令和 6年度	令和 5年度	令和 5年度	
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)	
活動指標 (1)	1 回	11	27	19	21	22	22	104.8	80.7	
活動指標 (2)	2 件	29	35	33	35	33	35	94.3		
成果指標 (1)	3 人	2,151	2,675	1,750	2,156	1,774	2,435	82.3		
成果指標 (2)	4 人	246	330	308	246	247	340	100.4		
事業費	5 千円	18,323	29,458	22,368	32,572	26,271	31,939	特記事項		
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	54,563	51,977	68,790	58,226	72,409	66,968	スポーツ推進委員の欠員、新型コロナウイルス感染症の影響による事業規模の変更により、令和5年度予算執行率が低くなりました。 交流自治体中学生親善野球大会で、4年ぶりに台湾訪問を行ったことにより、令和5年度実績が前年度より大幅に増加しました。	
	上記以外の職員	7 千円	0	0	0	0	0	0		
総事業費 (5+6+7)	8 千円	72,886	81,435	91,158	90,798	98,680	98,907			
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0		
	国・都からの補助金	10 千円	1,102	5,878	5,553	2,450	3,041	2,700		
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	1,102	5,878	5,553	2,450	3,041	2,700		
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	71,784	75,557	85,605	88,348	95,639	96,207		

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

令和 5年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 105

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	交流自治体中学生親善野球大会の開催	162	人	12,370
	中学校対抗駅伝の開催	391	人	7,800
	スポーツ推進委員	21	人	2,768
	体育団体活動の奨励	20	件	1,401
	その他 (わいわいスポーツ教室、スポーツ栄誉章等)			1,932
取組成果	<p>交流自治体中学生親善野球大会は、4年ぶりに台湾を訪問して、台湾台北市、南相馬市と杉並区の中学生が野球を通じて交流しました。中学校対抗駅伝大会は、区内中学校と南相馬市チーム、男女合計391人が参加しました。体育団体事業の共催32件、後援109件を行い、団体活動を支援しました。重度心身障害者スポーツ教室「わいわいスポーツ教室」は、5回開催し、延56人が参加しました。スポーツ栄誉顕彰は、栄誉章 (21組73人) と特別栄誉章 (1人) を授与しました。</p>			

令和 5年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	<p>成果指標 (1) の「各種事業参加者数・スポーツ栄誉章被顕彰者」は、目標値2,156人に対して実績は1,774人でした。スポーツの日イベントが、雨天のため屋内のみで開催したことが影響しています。成果指標 (2) の「各種事業ボランティア等人数」は、目標値246人に対して実績は247人と、目標を達成しました。新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、行動制限がなくなったことが影響していると考えられます。コロナ禍が終わり、スポーツイベント等は今後増加していくことが見込まれます。一方で、スポーツ推進委員は令和6年4月1日現在、定数50人に対し22人であることから、引き続き、活動内容の周知等により委員の確保に努めます。</p>
課題・分析 (2 / 2)	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>交流自治体中学生親善野球大会は、10月に杉並区で開催し、杉並区、台湾台北市、福島県南相馬市の中学生が3日間に渡り交流を深めます。中学校対抗駅伝大会は、12月に開催し、男女とも約25チームが参加します。重度心身障害者スポーツ教室「わいわいスポーツ教室」は、回を重ねるごとに参加者が増えています。共催・後援による体育団体事業は、計画された全ての事業が開催され、多くの区民が参加する見込みです。</p>
事業の方向性・改善策	<p>交流自治体中学生親善野球大会や中学校対抗駅伝大会は、子どもたち同士の交流や挑戦など、多様な体験に基づく学びや育ちの機会となるよう、取組を進めます。特に駅伝大会は、生徒数の減少や教員の負担などの課題があり、実行委員会での意見や大会終了後のアンケート結果等も踏まえ、必要な見直しを検討していきます。また、重度心身障害者スポーツ教室「わいわいスポーツ教室」は、年6回の開催の中で新たなプログラムを取り入れるなど、より多くの方が楽しめるよう進めるとともに、ボランティア体制を充実させます。</p>

令和 7年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善)
予算の方向性の理由・内容	<p>交流自治体中学生親善野球大会や中学校対抗駅伝大会、重度心身障害者スポーツ教室「わいわいスポーツ教室」などの生涯スポーツ振興事業は、令和6年度と同規模で令和7年度も実施予定であり、予算額に大きな変更はありません。駅伝大会については、生徒や教員の負担を軽減するなど必要な見直しを検討していくとともに、「わいわいスポーツ教室」についてはボランティア体制を充実させます。</p>	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

(00533)

事務事業名称	公益財団法人杉並区スポーツ振興財団への助成				款	03	項	06	目	01	事業	002	整理番号	106	
現担当課名	スポーツ振興課		係名	施設管理係		連絡先電話番号	1672		昨年度整理番号	108					
上位施策No・施策名	29 誰もがスポーツに親しむことができる環境づくり								予算事業区分	既定事業					
事業開始	平成 5年度	実行計画事業	目標	08	施策	29	計画事業	01							
令和 5年度担当課名	スポーツ振興課								事業評価区分	一般					

令和 5年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	公益財団法人杉並区スポーツ振興財団	根拠法令等	(1) 社会教育法第3、5条 (2) スポーツ基本法第34条
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	公益財団法人杉並区スポーツ振興財団が、その設立目的であるスポーツ振興に関する事業を活発に行うことができるよう、補助金を支出し、財団の安定的な運営に役立てる。	活動指標	教室参加者数
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	公益財団法人杉並区スポーツ振興財団が行う「各種スポーツ教室・講座及び各種大会の運営に関する事業」、「スポーツ関係団体の育成・支援及び指導者の養成事業」、「スポーツ振興のための普及啓発事業」等に必要経費を助成する。	指標名 (1)	事業開催数
		指標名 (2)	
		成果指標	運動・スポーツをしていない人の割合
		指標名 (1)	区民意向調査による 【区民】
		指標名 (2)	利用者満足度
		指標説明	利用者満足度調査 【区民】

指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度		令和 6年度	令和 5年度	令和 5年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1 人	43,160	38,000	22,657	29,518	25,193	30,279	85.3	91.5
活動指標 (2)	2 種目	359	31	29	31	31	30	100.0	
成果指標 (1)	3 %	19.0	15	19.7	15	18.8	15	125.3	
成果指標 (2)	4 %	84.8	85	88.0	85	94.9	85	111.6	
事業費	5 千円	89,966	118,402	103,306	114,695	104,934	126,009	特記事項	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	5,840	3,337	4,159	4,159	5,860	4,186	
	上記以外の職員	7 千円	0	0	0	0	0	0	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	95,806	121,739	107,465	118,854	110,794	130,195		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	0	0	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	0	0	0	0	0	0	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	95,806	121,739	107,465	118,854	110,794	130,195	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

令和 5年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 106

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	運営等補助	1	団体	104,934
	その他 ()			
取組成果	<p>公益財団法人杉並区スポーツ振興財団では、必要な感染症対策を講じながら、スポーツ教室やイベント・大会等の事業 (31事業、延べ25,193人参加) を実施したほか、スポーツ関係団体の育成・支援及び指導者の養成、区民のスポーツ活動を促進するための普及啓発に取り組みました。</p> <p>区は、こうした財団の取組を支援するため、運営及び事業に要する経費への助成を行いました。</p>			

令和 5年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	<p>新型コロナウイルス感染症が令和5年5月に「5類感染症」に移行したことから、多くの事業をコロナ禍前の規模で実施することができました。このため、スポーツ教室等の事業開催数及び参加者数については、参加者数が目標値に届かなかったものの、両指標ともに令和4年度と比較して増加しました。今後も事業開催数や参加者数は増加が見込まれますが、財団では年度途中での職員の退職が続く等、組織体制や職員構成が課題となっています。</p>
課題・分析 (2 / 2)	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>財団では、令和5年度に引き続き、多くの事業においてコロナ禍前の規模で各種スポーツ教室・大会等を実施しているほか、杉並区スポーツ協会 (令和6年4月に「杉並区体育協会」から名称変更) の事務局を担うなど、区内スポーツ関係団体の活動を支援しています。</p> <p>また、ユニバーサルタイムなど区からの受託事業については、区と連携・協力しながら実施しています。</p>
事業の方向性・改善策	<p>財団は「杉並区スポーツ推進計画」に基づく取組の重要な実施主体として、引き続き、より公益性の高いスポーツ振興事業に取り組んでいく必要があります。</p> <p>一方で、組織体制や職員構成に課題があることから、財団が今後注力すべき地域のスポーツ課題等を含め、今後の財団のあり方について検討を進めていきます。</p>

令和 7年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善)
予算の方向性の理由・内容	<p>今後の財団のあり方検討の状況を踏まえつつ、令和7年度における各事業の実施に必要な経費について、適切な予算見積を行います。</p>	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

(00534)

事務事業名称	スポーツ推進計画					款 03 項 06 目 01 事業 003	整理番号	107	
現担当課名	スポーツ振興課		係名	施設管理係		連絡先電話番号	1676	昨年度整理番号	109
上位施策No・施策名	29 誰もがスポーツに親しむことができる環境づくり					予算事業区分	既定事業		
事業開始	平成24年度	実行計画事業	目標 08	施策 29	計画事業 01	02	主要事業（区政経営報告書掲載事業）		
令和 5年度担当課名	スポーツ振興課					事業評価区分	一般		

令和 5年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	区民 スポーツ関係団体	根拠法令等 (1) (2)	スポーツ基本法第9条
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	スポーツ・運動が、区民により身近になることで健康維持に役立ち、さらに地域のつながり・交流に結び付くよう、スポーツ推進計画「健康スポーツライフ杉並プラン」を推進する。	活動指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2)	スポーツアカデミー参加者数 ユニバーサルタイム開催回数
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	スポーツ分野の人材育成プログラム「すぎなみスポーツアカデミー」では、各種の講座を開催するほか、修了者に実践の場を紹介する取組を推進する。障害者スポーツの推進に向け、「障害者スポーツネットワーク」及び「ユニバーサルタイム」の開催や施設のユニバーサルデザインの推進に取り組む。総合型地域スポーツクラブの設立・運営支援を行う。	指標説明 成果指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2) 指標説明	成人の週1回以上のスポーツ・運動実施率 区民意向調査による 【区民】 ユニバーサルタイム参加人数 参加人数 【行政】

指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度		令和 6年度	令和 5年度	令和 5年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1 人	517	300	291	300	419	300	139.7	77.8
活動指標 (2)	2 回	0	2	2	14	13	20	92.9	
成果指標 (1)	3 %	54.8	62.0	56.4	62.0	58.3	63.0	94.0	
成果指標 (2)	4 人	0	60	139	900	359	900	39.9	
事業費	5 千円	7,796	11,538	9,251	12,756	9,925	12,917	特記事項	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	15,017	21,525	9,150	9,150	10,882	9,208	すぎなみスポーツアカデミーの実施内容の精査、ユニバーサルタイムにおける委託料・賃借料の実績残等により、執行残が生じています。
	上記以外の職員	7 千円	0	0	0	0	0	0	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	22,813	33,063	18,401	21,906	20,807	22,125		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	0	0	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	0	0	0	0	0	0	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	22,813	33,063	18,401	21,906	20,807	22,125	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

令和 5年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 107

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	すぎなみスポーツアカデミーの運営	5	講座	2,656
	チャレンジアスリートの開催	221	人	2,815
	障害者スポーツの推進	359	人	4,300
	健康スポーツライフ杉並プラン推進懇談会	1	回	103
	その他 (総合型地域スポーツクラブ研修ほか)			51
取組成果	<p>ユニバーサルタイムは荻窪体育館9回、上井草スポーツセンター4回の計13回開催し、延べ359人が参加しました。開催に当たっては、関係団体からなる障害者スポーツネットワークで当日のプログラムや熱中症対策等について意見を聴取しました。すぎなみスポーツアカデミーは令和5年度にリニューアルを行い、誰もが基礎的なことを学べる一般科目と、専門的なニーズに対応する専門科目を設ける等の取組を行い、延べ419人が参加しました。チャレンジアスリートはオリンピック種目等の実技体験を3回、スポーツに関する職場見学を5コース行い、延べ221人が参加しました。</p>			

令和 5年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	<p>ユニバーサルタイムは、荻窪体育館では定着してきましたが、令和5年度から始めた上井草スポーツセンターではまだ2年目であることから、引き続き利用者がより参加しやすい時間帯や曜日などを検討する必要があります。また、荻窪体育館、上井草スポーツセンターいずれも参加者はリピーターが多くなっていることから、新しい方に参加してもらうための効果的な周知方法等を研究する必要があります。</p> <p>ユニバーサルタイムは今後も段階的に拡大していく予定であることから、サポーターの養成や、指定管理者への一部委託など、継続して事業を実施できる取組が必要です。</p>
課題・分析 (2 / 2)	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>令和6年度のユニバーサルタイムは、荻窪体育館12回、上井草スポーツセンター8回を予定しています。令和7年度は新たに3か所目の体育館で開催することを計画しており、今年度中に障害者スポーツネットワークで意見を聴取した上で、3か所目の体育館を決定します。6月にはユニバーサルタイムサポーター養成講習会を開催しました。講習会を修了した新たなサポーターや学生ボランティアなど、ユニバーサルタイムに関わる人が増えています。下半期は荻窪体育館における運営を、指定管理者に一部委託して実施します。</p>
事業の方向性・改善策	<p>令和7年度以降もユニバーサルタイムの開催場所、実施回数は拡大していく予定であり、引き続き、参加者アンケートや障害者スポーツネットワークでの意見を参考に、開催曜日や時間帯について検討しつつ、より多くの方が楽しめる事業になるよう、プログラム等について改善を図っていきます。</p> <p>また、学校施設の有効活用について、令和4年度及び5年度に高円寺学園において実施したモデル事業の結果を踏まえ、令和7年度以降の地域スポーツ振興事業の実施に向けて検討を進めていきます。</p>

令和 7年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	拡充
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善)
予算の方向性の理由・内容	<p>令和7年度のユニバーサルタイムは、荻窪体育館及び上井草スポーツセンターで各12回開催するほか、新たに3か所目の体育館で4回開催する予定です。</p> <p>また、学校施設の有効活用について、令和7年度から地域スポーツ振興事業を実施するため、その経費を新たに見積もる予定です。</p>	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

(00535)

事務事業名称	体育施設の維持管理				款	03	項	06	目	02	事業	001	整理番号	108	
現担当課名	スポーツ振興課		係名	施設管理係		連絡先電話番号	1676		昨年度整理番号	110					
上位施策No・施策名	29 誰もがスポーツに親しむことができる環境づくり								予算事業区分	既定事業					
事業開始	昭和30年度	実行計画事業	目標	08	施策	29	計画事業	03	主要事業（区政経営報告書掲載事業）						
令和 5年度担当課名	スポーツ振興課								事業評価区分	施設維持管理					

令和 5年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	施設利用者（区民、団体等）	根拠法令等	(1)	スポーツ基本法第2条、12条
			(2)	杉並区体育施設等に関する条例
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	施設を常に良好な状態に保ち、すべての区民にスポーツ活動の場を提供する。	活動指標	指標名（ 1 ）	
			指標説明	
			指標名（ 2 ）	
			指標説明	
活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）	運動場12か所、体育館6か所、プール5か所の維持管理を行う。	成果指標	指標名（ 1 ）	
			指標説明	
			指標名（ 2 ）	
			指標説明	

指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度		令和 6年度	令和 5年度 対計画比(%)	令和 5年度 予算執行率 (%)
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画		
活動指標（ 1 ）	1								92.8
活動指標（ 2 ）	2								
成果指標（ 1 ）	3								
成果指標（ 2 ）	4								
事業費	5 千円	996,325	1,123,853	1,088,865	1,232,974	1,143,913	1,130,808	特記事項	
人件費	常勤職員分（再任用含）	6 千円	51,893	40,046	49,908	46,581	52,737	46,878	
	上記以外の職員	7 千円	3,675	3,675	0	3,678	3,807	3,807	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	1,051,893	1,167,574	1,138,773	1,283,233	1,200,457	1,181,493		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	0	33,332	33,665	0	0	0	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	0	33,332	33,665	0	0	0	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	1,051,893	1,134,242	1,105,108	1,283,233	1,200,457	1,181,493	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

令和 5年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 108

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	管理運営 (指定管理者)	9	施設	641,705
	管理業務委託	5	施設	207,705
	荻窪体育館アリーナ床張替工事			22,110
	松ノ木運動場防球ネット改良工事			52,600
	その他 (光熱水費、修繕、備品購入など)			219,793
取組成果	<p>新型コロナウイルス感染症が「5類感染症」に移行しましたが、各施設では引き続き「人と人の距離の確保」など基本的な感染防止策は継続して行い、利用者が安心して利用できる施設運営を行いました。施設整備については、荻窪体育館アリーナの床張替工事、上井草スポーツセンター館内照明LED化などの改修工事を行いました。また、松ノ木運動場防球ネットの改良工事に着手しました (工期は令和6年5月末まで)。</p>			

令和 5年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	
課題・分析 (2 / 2)	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>令和6年度は、8月までに松ノ木運動場防球ネット改修を行うとともに、利用者満足度を高めるため上井草スポーツセンターに移動式ミスト扇風機を設置しました。このほか、今年度中に上井草スポーツセンター防球ネット改修等を行う予定です。</p>
事業の方向性・改善策	<p>今後予定している長寿命化改修工事の中で、杉十小温水プールについても改修を図ります。また、和田堀公園プールについても施設の老朽化が進んでいますが、区内唯一の50mプールであり、毎年大会で使用されていることから、必要な修繕を行いつつ、新たな50mプールの設置も視野に検討を進めます。指定管理者制度を導入している施設では、令和5年度に実施した利用者満足度調査で、いずれの施設も利用者の70%以上が施設のサービス等に満足していると回答しています。また、モニタリングでも指定管理者制度を導入している3グループいずれも「優良」評価を得ていることから今後も指定管理者による運営・管理を継続していきます。なお、利用者からは体育施設へキャッシュレス決済導入の希望が出ていることから、今後は関係課と連携しながら取り組んでいきます。</p>

令和 7年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	拡充
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	<p>令和6年度に引き続き、令和7年度も各施設、設備の老朽化に伴う改修の優先度・緊急度を踏まえ、年次修繕と合わせて、必要な経費を計上します。また、令和7年度末に下高井戸おおぞら公園多目的スポーツコート及び管理棟を開設するため、今後その運営経費を計上する予定です。</p>	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

(00847)

事務事業名称	下高井戸おおぞら公園スポーツコートの整備				款	03	項	06	目	03	事業	002	整理番号	109	
現担当課名	スポーツ振興課		係名	施設管理係		連絡先電話番号	1672		昨年度整理番号	111					
上位施策No・施策名	29 誰もがスポーツに親しむことができる環境づくり								予算事業区分	投資事業					
事業開始	令和 4年度	実行計画事業	目標	08	施策	29	計画事業	03	主要事業（区政経営報告書掲載事業）						
令和 5年度担当課名	スポーツ振興課								事業評価区分	一般					

令和 5年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	施設利用者（区民、団体等）	根拠法令等 (1) (2)
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	下高井戸おおぞら公園の多目的スポーツコートの管理棟（パークステーションII）が完成し、利用が開始される。	活動指標 指標名（ 1 ） 指標説明 指標名（ 2 ）
事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）	○令和7年度の開設に向け、多目的スポーツコートの利用者が使用する更衣室やシャワー室を備えた管理棟の設計を行う。	指標説明 成果指標 指標名（ 1 ） 指標説明 指標名（ 2 ） 指標説明

指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度		令和 6年度	令和 5年度	令和 5年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比(%)	予算執行率 (%)
活動指標（ 1 ）	1								99.9
活動指標（ 2 ）	2								
成果指標（ 1 ）	3								
成果指標（ 2 ）	4								
事業費	5 千円		6,533	4,100	17,711	17,701	191,039	特記事項	
人件費	常勤職員分（再任用含）	6 千円	0	6,904	6,654	12,054	6,697	管理棟の基本実施設計委託について、ZEB化をするための設計変更を行ったこと等に伴い、令和5年度実績が前年度より大幅に増加しました。 債務負担額：14,100千円（令和4～5年度）	
	上記以外の職員	7 千円	0	0	0	0	0		
総事業費 (5+6+7)	8 千円		6,533	11,004	24,365	29,755	197,736		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0		
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	0		
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	0	0	0	0	0		
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円		6,533	11,004	24,365	29,755		

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

令和 5年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 109

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	管理棟 (パークステーションII) の基本実施設計委託			17,701
	その他 ()			
取組成果	令和7年度開設予定の管理棟 (パークステーションII) について、令和5年4月に策定した「杉並区地球温暖化対策実行計画」との整合性を図り、ZEB化をするための設計変更を行い完了しました。また、令和5年12月に管理棟や多目的スポーツコートを含む下高井戸おおぞら公園東側の整備概要の説明会をオープンハウス形式で実施し、地域への周知に努めました。			

令和 5年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	多目的スポーツコート及び管理棟の令和7年度末の運用開始に向けて、令和6年度中に運用方法や使用料等について検討し、詳細を決定する必要があります。運用方法の検討に当たっては、公園の運営方法も関連するため、みどり公園課と調整しながら進める必要があります。
課題・分析 (2 / 2)	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	管理棟 (パークステーションII) のZEB化を含めた設計が完了し、令和6年度中に建築工事に着手します。また、運用方法や使用料等についても関係課と調整を行い、令和6年度中に詳細を決定します。
事業の方向性・改善策	令和7年度末の多目的スポーツコート及び管理棟の開設に向けて、公園の運営方法や隣接する下高井戸運動場との連携も視野に入れながら検討していきます。また、管理棟のZEB化に伴う周知、PR方法なども合わせて関係課と連携しながら進めていきます。

令和 7年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	拡充
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	管理棟 (パークステーションII) の令和7年度末の開設に向けて、建築工事費を計上するとともに、必要物品と運営に係る経費を令和7年度に計上する必要があります。また、公園東側部分と多目的スポーツコートの開設に当たり、式典の開催も検討します。	